

気仙沼普及センターだより

宮城県気仙沼農業改良普及センター

〒988-0181 宮城県気仙沼市赤岩杉ノ沢47-6

TEL : 0226-25-8068 FAX : 0226-22-1606

Vol: 146

令和2年11月27日発行

復興へ 心ひとつに がんばろう 気仙沼! 南三陸!

祝 (株)小峯興業が
農林水産大臣賞を受賞



だて正夢の刈取時期判断を指導する佐藤普及員

県農林産物品評会「玄米の部」で
農林水産大臣賞を受賞

技術副参事兼次長 狩野 篤

新型コロナウイルス感染症の収束が見えませんが、欧米では気温の低下とともに、再び感染が拡大し、経済・社会活動に深刻な影響を与えています。

日本でも感染者数が増えており、県内の新規感染者についても連日発表されているところですが、これから本格的な冬を迎えるにあたり、インフルエンザとの同時流行も懸念されており、マスクの着用や三密の回避など、これまで以上に感染予防対策に万全を期す必要があります。

コロナ禍は農業分野でも大きな影響を与えています。特に肉用牛、花きは需要が減少し、打撃を受けましたが、緊急事態解除後は改善傾向にあるようです。

一方、米については家庭用販売が伸びてはいるものの、業務用の落ち込みをカバーしきれず、価格が低迷しています。また、水稲の作柄は、米どころの北海道・東北ではやや良となり、需給緩和がさらなる米価の下落につながるのではと懸念されています。「需要に応じた米づくり」や「水田フル活用」による麦・大豆の作付け拡大や収益性の高い園芸品目の振興が、なお一層求められるところです。

こうした情勢の中、十月に開催された宮城県農林産物品評会「玄米の部」において、気仙沼市本吉の(株)小峯興業が管内初の農林水産大臣賞を受賞され、明るい話題となりました。これは、ひとえに受賞者の良質米生産に対する意欲と技術の賜物であり、改めてお祝い申し上げ、また普及センターとしても、ともに受賞を喜びたいと思います。

中山間地のための草刈り省力化機械実演会を開催しました!

管内の農地の多くは中山間地域にあり、経営規模が小さい上、担い手不足や高齢化より農地の維持管理が難しいという課題を抱えています。特に、中山間地特有の長大な法面は、高齢者にとって草刈作業等が重労働となり、危険を伴うものでした。そこで普及センターでは、草刈作業の省力化の一助になるよう、ラジコン式草刈り機を中心とした実演会を開催しました。

当日は朝まで雨が降っており、開催が危ぶまれましたが、実演会場である南三陸町志津川入谷地区の農業者を中心に20名が参加し開催することができました。

ラジコン式草刈り機は2社から実演していただき、傾斜40度でも作業可能な機種や、アタッチメントにより樹木や壁側の際や畦畔の小さな法面も可能なバッテリー式で静かな機種等、各々の特徴についてPRしました。また、実演だけではなく、希望した参加者には操作を体験させてもらい、「コツをつかめばもっと上手に刈れるようになるよ。」と興味を持った参加者もありました。

当日は他にドローンによる農薬散布の実演も行い、「このような機械を使いこなせば、若い世代の就農にもつながるかもしれない。」と手応えを感じているようでした。



気仙沼いちごの増産に向けて

令和2年9月30日に気仙沼市階上地区のいちご生産者を対象に、JA新みやぎ南三陸地区本部主催のいちご栽培勉強会が開催されました。

今回の勉強会では農業・園芸総合研究所の研究員を講師に招き、ほ場を巡回して生育ステージに応じた肥培管理や温度管理について指導いただいたほか、令和2年産の県産いちごの振り返りと令和3年産いちごの栽培管理のポイント、県育成新品種「にこにこベリー」の特徴について研修しました。

普及センターからは、令和2年産の生育調査と環境モニタリングデータの結果を解説し、生産者ごとのデータを比較しながら収量向上に向けた環境づくりについて検討しました。

参加者からは「自分のハウスは湿度が低いため改善したい」「開花が遅れないように温度管理に留意したい」などの積極的な意見が聞かれ、有意義な勉強会となりました。



三陸道本吉パーキング軽トラ市のワークショップが行われました

令和2年9月8日、気仙沼市本吉公民館において「本吉農林水産物軽トラック販売者の会」の会員が集まり、中山間地農業ルネッサンス推進事業によるワークショップが開催されました。昨年度から活動を始めた「軽トラック販売者の会」は、三陸自動車道の本吉パーキングで、隔週土曜日に農産物の直売を行っている農業者グループです。

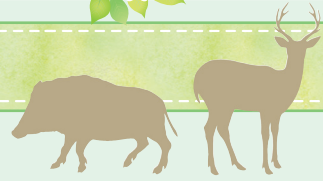
今回のワークショップは、講師に(株)東北農都共生総合研究所の職員をお招きし、限られた販売機会を有効に活かすため、会員内の出荷可能品目を整理し、理想的な年間計画を作ることを目的に実施しました。

各会員の出荷可能な野菜や山菜、加工品について、模造紙を活用して年間計画に落とし込み、さらに、季節に合わせた目玉商品やイベントのアイデアも出し合って、意見交換を行いました。議論は和気あいあいと楽しい雰囲気で行われ、今後につながる有意義なワークショップとなりました。



普及センターからのお知らせ

～鳥獣被害対策を実施しましょう！～



1 管内の被害状況

気仙沼管内の野生鳥獣による農作物被害額は、令和元年度で約916万円となっており、そのうち約7割がニホンジカやカモシカの被害によるものです。その他ハクビシンやクマの被害も散見されています。また、近年ではイノシシによる被害も見られ、早い段階での適切な対策が望まれます。

2 野生鳥獣の特徴



ニホンジカの足跡



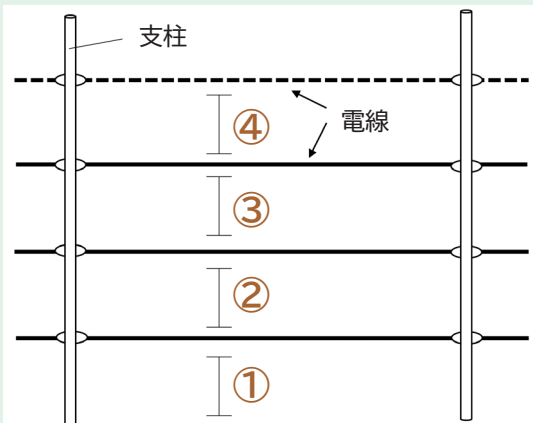
イノシシの足跡

※矢印は進行方向、丸印は副蹄跡。
写真は宮城県農山漁村なりわい課HPより引用。

3 防護柵の種類

	物理柵 (障壁によって防ぐ)	心理柵 (学習によって防ぐ)
種類	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイヤーメッシュ柵 ・ネット柵 ・トタン 他 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気柵

4 効果的な電気柵の設置方法



※3段張りは実線のみ、4段張りは実線及び点線。

獣種別の電気柵の段数と電線設置高さ

ニホンジカ カモシカ	4段張り	①30cm ②40cm ③50cm ④50cm
ハクビシン タヌキ	4段張り	①10cm ②15cm ③15cm ④15cm
イノシシ	3段張り	①15cm ②15cm ③15~20cm
クマ	3段張り	①20cm ②20cm ③20~30cm

※地域の実情にあわせて設置方法を検討しましょう。

5 活動紹介

当普及センターでは「集落ぐるみの鳥獣被害対策モデル事業」を活用し、効果的な鳥獣被害対策について、モデル集落を対象に勉強会等を開催しています。

①気仙沼市八瀬地区上八瀬

- ・野生動物の生態や対策手法について勉強会を開催しました。
- ・7行政区のうち1行政区を重点対象とし、集落点検を実施しました。
- ・現場での課題の洗い出しを行い、点検マップを作成しました。
- ・勉強会の翌年に、電気柵の設置状況を確認するフォローアップ研修を実施しました。



②南三陸町歌津中在地区ほか4行政区

- ・野生動物の生態や対策手法について勉強会を開催しました。
- ・今後は集落点検、防護柵の設計・設置の検討、フォローアップ研修会の開催を予定しています。



今年新たに設立された2法人を紹介します!

●株式会社 階上生産組合●

設立 令和2年4月1日

代表取締役社長 佐藤 美千夫

概要 気仙沼市階上地区で約40haの農地に水稲・大豆・枝豆(気仙沼茶豆)を作付けする、管内最大規模の土地利用型営農組織です。農地の集積や後継者確保を目的に、本年4月1日に法人化し、株式会社階上生産組合を設立しました。平成23年3月の東日本大震災においては、甚大な被害を受けましたが、まもなく営農を再開し、現在では震災前の水準の収量を確保できるようになりました。

代表より一言

震災の影響を受けたが、皆さんの支えもあってここまで来ることができました。地域の農地を守るため、引き続き頑張っていきたいです。



●株式会社 アグリファーム原ノ沢●

設立 令和2年3月4日

代表取締役 鈴木 敏 榮

概要 気仙沼市階上地区で水稲・枝豆(気仙沼茶豆)・野菜を作付けする農業法人です。地域農業の受け皿としての体制強化や社会保険等の労働環境整備のため、本年3月4日に法人化し、株式会社アグリファーム原ノ沢を設立しました。水稲9ha、枝豆3haのほか、こまつなを栽培し、今冬から春告げやさいの栽培にも取り組んでいます。

代表より一言

水稲を中心に野菜にも取り組む複合経営を目指しています。地域の農地を守っていきます。



農林産物品評会(玄米の部)

1等 農林水産大臣賞

気仙沼市 株式会社 小峯興業
(品種: ササニシキ)



花き品評会

金賞 東北農政局長賞

輪ぎく: 南三陸町 遠藤吉司
(品種: 精興光玉)

令和2年10月21日に農林産物・花き品評会が開催されました。気仙沼管内では合計17点を出品、審査の結果、水稲部門で農林水産大臣賞、花きで金賞1点、銀賞1点の合計3点が入賞を果たしました。受賞されました皆様にお祝い申し上げます。



花き品評会

銀賞

シクラメン: 気仙沼市
有限会社 気仙沼園芸 (敬称略)

令和2年度
宮城県農林産物
・花き品評会で
各賞受賞

おめでとう
ございます

令和3年度 宮城県 農業大学校 学生募集

水田経営学部
園芸学部
畜産学部
アグリビジネス学部

宮城県農業大学校では、農業に意欲や関心のある学生を募集しています。一般入学試験【後期】の募集期間等は次のとおりです。

※前期試験で定員に達した学部は、後期試験を実施しないことがあります。

募集期間 令和3年1月15日～同年1月29日

試験日時 令和3年2月10日 午前8時45分～

お問い合わせ先 宮城県農業大学校 教務部学生班
〒981-1243 宮城県名取市高館川上字東金剛寺1番地
TEL:022-383-8138 FAX:022-383-5491

リスクへの備えはできていますか? 収入保険に加入しましょう!